



四小だより 12月号

平成29年12月1日(金)
国立市立国立第四小学校
校長 市川 晃 司

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい 国立第四小学校」

夢と感動の「創立60周年記念行事」を終えて

副校長 向井 美紀

校庭周りの紅葉を迎えた樹木が穏やかな日差しに照らされている中、本校創立60周年記念式典が行われました。約一年をかけて、記念誌、展示室、記念集会、記念式典の準備をしてまいりました。準備を進めていく途中に、50周年時に埋めたタイムカプセルがあることを知り、当時の教職員の方々、卒業生、保護者・地域の方々、現在の教職員で何度か掘り起こしてみました。残念ながら見つかりませんでした。卒業生から「大人になった自分への手紙」をタイムカプセルの中に一人一人、入れたことを聞きました。当時の四小の子供たちは、どんな気持ちで自分宛ての手紙をしたためたのでしょうか。子供たちが成長した自分を思い描き、一生懸命手紙を書いている姿が想像でき、微笑ましく思います。いつかこのタイムカプセルが見つかることを願っています。

さて、24日の記念式典には、たくさんの来賓の方々にお越しいただき、ありがとうございました。永見理夫国立市長を始め、大和祥郎市議会議員、是松昭一教育長からお祝いの言葉をいただき、本校がこれまでに多くの方々に支えられ、見守られて「還暦」を迎えられたことがひしひしと伝わってまいりました。

講演会では、パントマイミストの藤倉健雄様に素晴らしいステージを披露していただきました。また、四小南自治会長の緑川隆様には6年代表児童との対談にご協力いただきました。いつも子供たちを見守ってくれる「ハナミズキ」の合唱を5・6年児童と教職員で披露できたことも地域への「恩送り」になると嬉しいです。

ご出席くださいました73名の来賓の皆様や保護者の皆様には、創立60周年の節目として、華やかであたたかい式典となったことに、改めて感謝申し上げます。今後共、四小が地域の核として皆様に愛されるように、大切な歴史の1ページを子供たちと紡いでいきます。



藤倉健雄氏「Grab it! 君の今をつかめ!!」



緑川隆氏「四小の思い出」児童との対談



5・6年児童・教職員合唱「ハナミズキ」

【12月の行事予定】

1日(金)	全校集会 長縄旬間始	14日(木)	避難訓練 とちの実面談始
4日(月)	個人面談① 午前授業 手話授業(4年)	15日(金)	長縄大会
5日(火)	個人面談② 全校朝会	19日(火)	安全指導
6日(水)	個人面談③ 午前授業 市議会傍聴(6年)	20日(水)	コーディネーション授業(1・2・3年)
7日(木)	個人面談④	21日(木)	給食終了
8日(金)	個人面談⑤ 全校集会	22日(金)	B時程 午前授業
11日(月)	委員会 地区リーダー会 とちの実指導終了	23日(土)	天皇誕生日
12日(火)	全校朝会	25日(月)	B時程 午前授業 終業式
13日(水)	地区児童会(14:05~)	26日(火)	冬季休業日開始
		1月9日(火)	3学期始業式

(12月の生活目標) 「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉を気持ちよく言おう

【学芸会にご来場ありがとうございました】

学芸会委員長 笠置 智美

幕を開ける歌が体育館に響き渡り、学芸会が始まりました。テーマは、「夢いっぱい 感動いっぱい とどけよう」。子供たちは、目を輝かせ、一人一人が夢をもちながら、感動いっぱいに表現しました。ご来場の皆様にも、夢と感動が伝わっていたら幸いです。

今年60周年を迎えた四小。60周年記念学芸会として、素晴らしい会となりましたこと、そして、開催にあたり、皆さまから賜りましたご支援とご協力、ご来場に心より感謝申し上げます。



【オリンピック・パラリンピック教育 ～佐藤 愛子さん～】

体育主任 松本 佳恵

11月27日(月)は、2008年北京オリンピック出場、2011年世界選手権大会で金メダルを獲得した女子柔道の佐藤愛子さんをお招きして、講演会とスポーツ交流会が行われました。小学生から始めた柔道でオリンピックに出場したものの、靱帯が切れる大怪我をした愛子さん。しかしそこで諦めることなく努力を続けた結果、見事に世界選手権で優勝することができました。柔道を通して学ばれたという「頑張ること・諦めないこと・感謝の気持ち」の話はとても印象的でした。投げ技の実演や体験も迫力があり、会場が盛り上がりました。今回の交流をきっかけに、スポーツへの関心を高め、夢に向かって努力をしようとする子供たちが増えてくれることを願っています。



【あいさつ運動 & ユニセフ募金活動について】

特別活動担当 星野 理

毎年12月に行っているあいさつ運動&ユニセフ募金は、今年度は1月15日(月)～20日(土)にかけて実施します。代表委員会が中心となり活動していきます。あいさつ運動では、おなじみのイメージキャラクター「あいろう君」を活用して、あいさつがしっかりできたか学級で振り返りをしていきます。ユニセフ募金では、映像やポスターを用いて活動のめあてを伝えていきます。

【モグピカチャレンジについて】

生活指導担当 森嶋 真希

11月13日(月)～17日(金)にかけて、モグピカチャレンジの活動を実施しました。子供たちは、基本的な生活習慣を身に付けるために、いつもより心がけて取り組んでいました。今回は特にご家庭でも「気持ちのよい言葉遣いをしよう」に気を付けていただき、ありがとうございました。今後も引き続き心がけていけるよう見守っていきます。児童のコメントと、ご家庭よりいただいたコメントを一部紹介いたします。

〈児童〉『モグピカチャレンジがあるとあいさつ、気持ちのよい言葉づかいをしようなどを見直す機会になるから、これを機に続けていきたいです。』

〈ご家庭より〉『朝ごはんを毎日いっしょけんめい食べ、歯みがきも積極的に、自ら行っていました。上記は自己評価ですが、意識して取り組めたようです。引き続きやってほしいです。』